

[高吐]FP+RT(放射線)療法(根治/stage II・III)(T4を除く)

外科 管理番号 RSG013

処方医: []

適応症: 食道癌stage II・III(T4除く)

下記を4週1コースとして2コース繰り返す。

→後治療としてFP療法1、2コース追加化学療法もあり

・CDDP 75mg/m²(day1)・5-FU 1000mg/m²(day1-4)

・体外照射50.4Gy(1.8Gy/day, day1-5, 8-12, 15-19, 22-26, 29-33, 36-40)

1コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
シスプラチン	●																											
フルオロウラシル	●	●	●	●																								
放射線	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●		
2コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
シスプラチン	●																											
フルオロウラシル	●	●	●	●																								
放射線	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●																

身長: [] cm 体重: [] kg 体表面積 [] m²

[投与スケジュール] ([] クール目)

Day1([] 月 [] 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食100mL [穿刺・プライミング]	1瓶	ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋
主治医の最終確認後にフルオロウラシル開始		ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋
ソリタT3号500mL	1袋	アロキシ点滴静注バッグ0.75mg デキサート注 [30分 点滴静注]	1袋 9.9mg
フルオロウラシル注 1000mg/m ² [24時間 点滴静注][炎症]		生食500mL シスプラチン 75mg/m ² [2時間 点滴静注] [炎症] アレルギー症状注意 6~8回以上ほぼ数分以内	1袋 プライミング
		ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋
		マンニトールS300mL [1時間 点滴静注]	1瓶
		フロセミド注20mg [静注]	1管
		ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋

Day2([] 月 [] 日) Day3([] 月 [] 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
ソリタT3号500mL	1袋	生食100mL	1袋
フルオロウラシル注 1000mg/m ² [24時間 点滴静注][炎症]		デキサート注 [30分 点滴静注]	8.25mg
		ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋
		ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋

Day4([] 月 [] 日)

本管	
薬剤名	投与量
ソリタT3号500mL	1袋
フルオロウラシル注 1000mg/m ² [24時間 点滴静注][炎症]	

シスプラチン

[今回の投与量] mg [累積投与量] mg

フルオロウラシル

[今回の投与量] mg [累積投与量] mg

[今回の投与量] mg [累積投与量] mg

[今回の投与量] mg [累積投与量] mg

[今回の投与量] mg [累積投与量] mg

[適性使用基準・投与開始基準]

1. PS (Performance Status)が0～2である							
2. 重篤な感染症を合併していない							
3. 重篤な骨髄抑制がない							
4. 重篤な腎障害がない							
5. 口内炎がない							
6. 下痢がない							
7. 劇症肝炎等の重症な肝障害がない							
8. フルシトシンを投与されていない							
9. TS-1が7日以上以上の休薬期間がある							
10. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。							
血液一般 検査	WBC	3500 ≤	≤ 12000				
	Neut	2000 ≤					
	PLT	10万 ≤					
	HGB	9.0 ≤					
	GOT	≤ 80					
	GPT	≤ 70					
	TBil	≤ 1.5					
	BUN	≤ 25					
	Cr	≤ 1.1					
	Ccr	80 ≤					
Mg	1.7 ~ 2.5						

シスプラチン

Ccr (mL/min)	60 <	45-60	30-45	< 30
CDDP	100%	75%	50%	中止

[フルオロウラシル]

TBIL < 5	100%
TBIL > 5	中止

● 化学療法においてGrade3以上の毒性が観察された場合、開始を1週間延期。または以下のように減量・延期

【血液毒性】

DAY1における白血球・血小板数	減量・延期
白血球数 2000以上3000未満 血小板数 75000以上100000未満	または 5-FUとCDDPともに50%減量。放射線は継続
白血球数 2000未満 血小板数 75000未満	または 回復まで化学療法と放射線共に延期

インターバル期間中における白血球数・血小板数	減量・延期
白血球数 1000未満 血小板数 75000以下	または 5-FUとCDDPともに25%減量。

【腎毒性】

Ccr・Scr	減量・延期
55ml/mL ≤ Ccr ≤ 65ml/min 1.6mg/dL ≤ Scr ≤ 2mg/dL	または CDDPを50%減量。放射線は継続
Ccr < 65ml/min	回復までCDDPと5-FU共に延期放射線共に延期。 放射線は継続

【口内炎】

化学療法中 Grade3以上の口内炎	当該コースの5-FUは投与中止。次コースから持続的に5-FU減量
インターバル期間中においてグレード3以上の口内炎	持続的に5-FUを25%減量

● 放射線療法の急性毒性においてはGrade3以上の毒性発現で休止し、回復後再開。
放射線療法と無関係なGrade3の毒性(口内炎・腎毒性・HFS)の場合は化学療法は休止するが放射線療法は継続

[重大な副作用]

《シスプラチン》

- ・急性腎不全
- ・汎血球減少等の骨髄抑制
- ・ショック、アナフィラキシー様症状【発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等】
- ・聴力低下・難聴・耳鳴【聴力低下・難聴・耳鳴】
- ・うっ血乳頭、球後視神経炎、皮質盲【視力低下・中心暗点・眼痛】
- ・脳梗塞【意識障害・頭痛・一過性脳虚血発作】

- ・溶血性尿毒症症候群【紫斑・むくみ・尿量低下】
- ・心筋梗塞、狭心症、うっ血性心不全、不整脈【胸痛・息切れ・動悸・心電図異常等】
- ・溶血性貧血【めまい・たちくらみ・倦怠感】
- ・間質性肺炎【咳・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群【むくみ・痙攣・意識障害】
- ・劇症肝炎、肝機能障害、黄疸【食欲不振・倦怠感・黄疸】
- ・消化管出血、消化性潰瘍、消化管穿孔【腹痛・嘔吐・吐血・下血】
- ・急性膵炎【腹痛・腰背痛】
- ・高血糖、糖尿病の悪化
- ・横紋筋融解症【筋肉痛・コーラ尿】

《フルオロウラシル》

- ・脱水症状【激しい下痢等】
- ・出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎【激しい腹痛・下痢等】
- ・ショック、アナフィラキシー様症状【発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等】
- ・白質脳症【歩行時のふらつき・四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等】
- ・うっ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症【疲労感・息苦しさ・むくみ・胸痛・胸部圧迫感等】
- ・急性腎不全【むくみ・尿量低下等】
- ・間質性肺炎【咳・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・肝機能障害・黄疸、肝不全【食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等】
- ・消化管潰瘍【食欲不振・腹痛・吐血・下血等】
- ・急性膵炎【腹痛・腰背痛・発熱・嘔吐・血清アミラーゼ値上昇等】
- ・意識障害を伴う高アンモニア血症
- ・肝・胆道障害(胆嚢炎、胆管壊死、肝実質障害等) * 肝動脈内投与時【腹痛・発熱・黄疸等】
- ・手足症候群【手掌・足趾の紅斑・疼痛性発赤腫脹・知覚過敏等】
- ・臭覚障害、嗅覚脱失(長期投与症例に多い)